



議会報告

「通学路の安全対策」「旧同和対策」の終結を「について質問しました

衆議院選挙の公示とともに定例市議会も始まりました。今回は人事院勧告もあり、11月27日からの開会となりましたが、今回も6人全員がそれぞれの課題から質問に立ちました。最終日は12月16日の予定です。

「森下さちこ一般質問」

通学路の安全対策

和歌山市の通学路は現状では、危険を承知の上で通行せざるを得ない箇所があります。毎年4月のはじめに各学校で安全点検を実施しています。信号機、ガードレール、転落防止柵、カーブミラーの設置はそれぞれの管轄があり、道路や警察などへ教育委員会から依頼する必要があります。しかし、道路は市全体を警察は県全体を扱

っていることから、通学路だけを強化することが困難な現状です。したがって要求に対し約7割の解決にとどまっています。私は教育委員会が責任を持って窓口となり、通学路に特化した施策を行う必要があること、また、基準を理由に改善されない状況は変えるよう求めました。

市は、国から示された「通学路交通安全プログラム」を作成し、それぞれの担当が合同で通学路に

ついて対策を講じる土台ができ、連携を強化できると答えました。また、基準は変えられないものの危険性を見て柔軟に対応すると答えました。

12月議会と並行して衆議院選挙が公示されるなど、この師走は慌ただしい幕開けとなりました。急



な冷え込みも手伝って、寒さ厳しい中の総選挙でもありました。インフルエンザも流行し始めたとか…くれぐれも体調管理は万全になさってください。

12月議会は来年度予算に向けての方針が示される時期です。新市長が初めて組む本格的な予算として注目されるとともに、市民要求が反映されるよう引き続きがんばります。



日本共産党

かとうなおと 加藤直人 です



マスコミ報道に共

産党の出番は少ない。いや「共産党を除く」がつけられてまるで異端者扱いだ。こんな情報の洪水に浸かっていると、共産党なんて大方の人は知らなくて当然かも。それだけではない。91歳のSさん曰く「私ら天皇制教育で共産党は恐ろしいものだ。いまだにそれは消えない」教育勅語が口をついて出てくるという。高齢者に反共を植え付けた根は深いの

か。それならば街角に出てみよう！国重さんがハンドマイクで私のはのぼり片手に必死で手振りだ。道行く人の反応もさることながら大事なのは共産党の姿かたちを見せること。消費税、集団的自衛権、原発、沖縄基地、政党助成金・・・全部真実を知ってもらいたい。なるほどねえ、知ってもらえば「安倍さんアカンデー」の世論がうねり出す。いやもう沸騰状態なのかも。党の姿が1カ所、2カ所、4カ所、8カ所・・・倍々にして変化は加速する。もう黙ってはられない。



ついて対策を講じる土台ができ、連携を強化できると答えました。また、基準は変えられないものの危険性を見て柔軟に対応すると答えました。

旧同和対策の終結を

繰り返し質してきたテーマですが、新市長になったことから、改めてその姿勢について聞きました。

事業の基になっていった法律が終結して、すでに13年が経過していますが、全国的には同和対策を終える自治体が多かった一方、和歌山市は未だ特別な地域

の住民を対象に、市営住宅の家賃減免、無料で止められる駐車場、エレベーター管理人報償金、子ども会への多額の補助金などの事業が行われています。このような事業のあり方は、「公平性に欠ける」と包括外部監査からも意見があり、今回で2回目の指摘です。それにもかかわらず、市長は人権意識が希薄になってきているから続けると答えました。私は行政が市民の間に垣根を作り、一方にだけ手厚い施策を行うことは許されないと、来年度予算を計上しないよう求めました。

# 「ひがし9条の会」第一回平和コンサート

12月6日、東部コミュニティセンターで開催された「ひがし9条の会」の平和コンサートに参加しました。

9条の会は憲法の中のとりのりわけ平和条項と言われる9条を守ろうと各界、各団体で作られています。「ひがし9条の会」は文字通り和歌山市の東地域にある9条の会です。

毎年、夏に総会とともに、講演会を行っていますが、今年は初めて平和コンサートが行われました。

歌あり、尺八、チューバ、アルトサクソスなどの楽器あり、フラダンスも披露されました。音楽やダンス、いずれも平和でなければ楽しめません。い



ろんな国のいろんな音楽やダンスを自由に楽しめる今の平和は、私たちの手で守ろうという意思があつてこそ続くものです。

## 市長に申し入れ、懇談しました

12月28日、市議団はあらかじめ申し入れていた新年度予算編成に向けた重点要望12項目について尾花市長と懇談しました。



12項目は、国の法律に伴って市に影響を及ぼす消費税増税や国保料などをはじめ、市の独自施策の充実などです。

尾花市長は消費税の増税は社会保障費の増加を考えれば、やむを得ないとの考えを述べる一方、農業振興に対しては積極的な姿勢をのぞかせました。

## 2015年度予算にあたっての重点要望

1. 消費税10%増税実施を取りやめるよう国に意見を上げられたい
2. 農業振興条例を制定するとともに米価暴落に対する緊急融資を実施されたい
3. 住宅・店舗リフォーム制度を実施されたい
4. 国民健康保険料は1人1万円引き下げられたい
5. 旧同和対策事業は直ちにやめられたい
6. 子どもの医療費助成制度を通院・入院ともに中学校卒業まで引き上げられたい
7. 介護保険要支援1・2の方へのサービスは新制度となっても現状と同等の内容を維持されたい
8. 山口地区滝畑の産業廃棄物埋め立て処分場の建設は許可しないようにされたい
9. 防災無線の可聴範囲の拡大、避難路への補助制度を拡充を図られたい
10. 旧児童女性会館はマーチング練習等ができる機能を持った施設として建設されたい
11. コミュニティセンターの10館構想の実施計画を持ち、順次建設されたい
12. 期日前投票はすべてのコミュニティセンターでできるようにし、在宅投票の基準を緩和するよう国に働きかけられたい



## 無料法律相談

12月16日(火) 13:00~  
1月16日(金) 13:00~  
28日(水) 18:00~

予約が必要です。事前にお電話をお願いします。

共産党議員団 森下さち子までTEL 435-1113



健康フェアでは肺年齢、骨密度、血管年齢などを測定し、健康寿命を伸ばすだけでなく、健康に過ごすことが課題だということでした。

市議会でも「和歌山市みんなどとりくむ生き活き健康づくり条例(案)」作りを行っています

てもらいました。骨密度は良い値でしたが、肺年齢と血管年齢はほんの少し(笑)実年齢を上回っていました。いつまでも若々しくいたいというのは、多くの人の願いだと思います。しかし、見た目とともに中身(内臓など)も健康であつてこそ、若さを保つことができます。今回、数値を見ることで自分の健康状態を改めて知ることができたのは、今後の生活のあり方を考えるきっかけになりました。

